

[生徒集計結果から]

生徒の回答で、AやBの肯定的な意見が昨年より増えているものは、

- No5 「自分は、本をよく読んでいます」が、昨年よりも3%増えています。本年度は図書館教育について四国大会での発表もあり、その成果が出始めているのではないかという結果になりました。
- No7 「自分は、自ら進んであいさつがよくできている」が、昨年よりも1%増えており、普段の声かけが響いているようです。

生徒の回答でAやBの肯定的な意見が減っているものは、

- No4 「自分は、授業が楽しく、内容がよくわかる」が、3%減っています。19%の生徒が否定的な回答をしており、来年度の課題として全教職員で取り組む必要があります。楽しくわかりやすい授業のために、さらに、教材研究に力を入れる必要があります。教員が教材研究に時間をさける環境整備に努めたいと思います。学ぶことが楽しく理解しやすい授業の展開が望まれます。
- No8 「自分は、清掃活動にまじめに取り組んでいる」が、3%減っています。無言清掃を実施している小学校もあるため、本校でも実施したり、清掃時間の音楽を検討したりして改善を目指します。
- No9 「自分は、健康な生活づくり（食事・睡眠・生活リズム）に努めている」が、7%減っています。現状を保護者に伝えるとともに、睡眠の大事さ学級等で指導し、改善を目指します。
- No10 「自分は、部活動（校外クラブ活動も含む）に一生懸命取り組んでいる」が、9%減っています。部活動を引退している3年生に否定的な意見が多かったため、質問の方法を改善するとともに、生徒が目標をもって自主的に参加できるよう改善を目指します。
- No13 「自分は、地域や社会の役に立つために何をすべきか考えることがある」が、5%減っています。地域に向けた問題解決学習や社会と自分の生活を見直す授業機会を増やすなどして改善を目指します。
- No14 「先生は、わかりやすい授業をしてくれる」が、4%減っています。教材の精選と、生徒がわかったと思えるような授業展開の工夫が必要です。また、自分から主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる必要もあります。
- No16 「先生は、いじめなどのない楽しい学級づくりや仲間づくりに努めていると思う」が、3%減っています。中学生の時期は、何かしらの不安や自分に対して不満足な気持ちを抱いていると考えられるので、配慮が特に必要な生徒へは、担任を中心としながら、面談等の実施も検討が必要です。
- No17 「学校は、校内の環境美化や施設・設備の整備に積極的に取り組んでいると思う」が、2%減っています。子ども達が気付き、不快に感じていることがあると考えられます。また、教師が、日々の清掃活動・環境整備を積極的にする必要があると考えます。
- No19 「学校は、地震・津波・不審者など、危機に対応する指導ができていると思う」が、6%減っています。避難訓練の実施方法の検討や、防災教育を充実させるなど生徒の意識に残るような実践を行いたいと思います。

[次のような意見がありました]

- 体育祭や文化祭に一生懸命取り組み、クラスの思い出を作った。
- 1、2年生の時よりも勉強を頑張った、毎日塾に通った、家庭学習に熱心に取り組むようになった。
- 最後まで部活をやり遂げた、自己ベストを出すことができた、キャプテンとしての責任感を持てた。
- 娯楽（スマホ、テレビ、ゲーム等）の誘惑に抗えなかった、時間を大切にできなかった。
- 言葉遣いが良くなかった、暴言があった、周囲への気配りが不足していた。